

神戸新聞派遣事業「新聞製作体験」生徒感想文

○新聞を作る楽しさを学ぶことができました。皆で協力しあって、新聞をつくるのは大変だったけれども、とても楽しかったですどのようにして記事を書くか、どの記事にするかなど、話し合いながら皆の意見を聞くのは意外と難しく大変でしたが、はじめてのことができてよかったです。読みやすいように工夫して書くのは面白かったです。

○多くの人に毎日情報を届けるのはすごいと思いました。一番見てほしいものを最初に配置したり、読み手にどこを見てほしいか考えて上手につくられる新聞はたくさんの方の支えや手によって成り立っているんだなと思いました。僕は新聞を読んでいませんでしたが、今回体験したことを思い出して、最近、最初に大きく取り上げられているところだけでも読もうと思って読むようになりました、とても良い体験ができたと思います。

○最初始まる前は、新聞づくりは難しいと思っていたけど、やってみると想像のはるか上をいく難しさでびっくりしました。これをつくっている人はすごいなと思いました。どういうことを見出しにするか、記事の内容にするかを考えている新聞社の方は心の底から尊敬できました。また、新聞を読むことがあればどういう風につくっているかを自分なりに考えて読みたいと思った。この体験を通じて少し新聞に興味を持てたし、読みたいと思えるようになりました。

○いつもの私の生活の中で、私はよく新聞を目にします。見出しの大きさや字体が変わったりと新聞は、いつも私たちに情報を分かりやすく教えてくれます。先日新聞作製は私はやりがいを感じることができました。班の仲間たちとともに作るのも楽しかったです。完成した新聞にはその班の色がそれぞれ違うと思います。説明に来て下さった方も私たちに優しく、丁寧に教えて下さり、分かりやすかったです。これからも私の生活には新聞があります。思い出だけにならないようにしたいです。ありがとうございました。

○私の家では新聞をとっています。それを母がよく読んでいますが、私は「今どきスマホで知れるのに」とずっと不思議に思っていました。ですが、今回体験をさせてもらって、新聞は書いた人の思いや、新聞にしか書いていない情報を知り、たくさんの時間と手間がかかっていることがわかりました。

○新聞の1ページの中にはいろんな工夫がなされていて、作るのにも時間や技術が必要だと分かった、新聞はスマホやテレビであまり見なくなっただけで、新聞にはいろんなニュースをまとめてみることができるという特徴があるので、新聞はなくなる方がいいと思った。

○毎日朝から欠かさず届いている新聞。インパクトのある見出しや写真のものはたとえ興味がなくとも気になって読んでしまう。それには、多くの工夫が施されていることを学んだ。何を読み手に伝えたいのか、見てほしいのか。それを考えながら、より正確な情報を書き込んだりすることは、自分が思っているより難しかったりする。だけど、それを毎日毎日仕事としている人がいると思うとすごいとも思っただし、感謝すべきなのだと感じることもできた。

○新聞を自分たちで作ってみて、とても大変でした。新聞は毎日ちがう内容だし、読む人の筆を考慮して文字の大きさなどを変えないといけないから、すごくいろいろ考えないといけないから本当にすごいと思いました。私は普段新聞を読まないけど、テレビのニュースと違い自分のペースで読むことができるのはとても良いところだと思いました。祖母が「新聞を読みなさい」とよく言うので、ぜひ読んでみようと思います。ありがとうございました。

○私はこの体験を通して2つのことを学びました。1つ目は、近くで何か大きなニュースがあったら、まずは神戸新聞新聞に連絡するという事です。2つ目は、みんなで協力して何かを完成させることは、とても難しいということです。新聞作製体験は、写真や文字のレイアウトから、装飾や色の使い方までお互いに気を遣わなければいけませんでした。その代わりに、新聞が完成したときは大きな達成感と喜びがありました。このことから、いやなことや面倒くさいと思うことから逃げず、一生懸命やれば達成感が生まれると思いました。ほかの班の新聞も参考になりました。